



鎌ヶ谷市国際交流協会 広報誌

第 82 号

2015 年 (平成 27 年) 1 月 7 日

発行：鎌ヶ谷市国際交流協会
 鎌ヶ谷市富岡 1-1-3 きらり鎌ヶ谷市民会館 3 階
 かまがやワールドプラザ内
 TEL：047-442-1860 月・水・土 9：00～16：00
 e-mail アドレス：main@kifa.gr.jp

2014 年度 KIFA パーティ開催 世界の屋台で交流を深める



【世界の料理で交流】

恒例の KIFA パーティが 11 月 30 日(日)鎌ヶ谷市総合福祉保健センターで開催されました。

セレモニーでは信夫会長の外国人 40 余名を含む 200 名を超える参加者への歓迎の挨拶に続き、来賓の清水市長からは「KIFA パーティは鎌ヶ谷市の風物詩であり、なくてはならない素晴らしいパーティです。KIFA には鎌ヶ谷市の国際交流に多大な貢献をいただいております。今日は色々な国の料理をいただくことで素晴らしい国際交流になると思います。」

芝田裕美市議会議長からは「国際交流協会には多文化共生センターのオープニング公演やパネルの展示、鎌ヶ谷市の総合防災訓練の「通訳ブース」の開設、またワカタネ市民団来訪の折の協力など様々なご協力を戴いております。これからも国と国、町と町をつなぐ懸け橋となって頑張りたいと思います。」との祝辞を戴きました。

【国際色ゆたかな屋台と舞台】

中国、韓国、インド、香港の料理はそれぞれの国から来た方々の作成による料理です。カナダブースはクッキーとお茶のサービス。キッズブースはクッキー遊びと若いボランティア作成のパソコンゲームです。どのブースも長い列ができ、並んでいる間も話に花が咲き、食べた後は幸せ顔が一杯見られました。

舞台の上では「スマイリーキッズ」の子どもたちと講師の「ABC ソング」と「BINGO」の歌の披露があり黄色いスカーフをした子どもたちの可愛らしく真剣な姿が見られました。交流タイムの合間にも「手話ダンス」「フォークソング」「南京玉簾」「ペルーダンス」などが披露されました。ペルー人によるダンスにも 6 名もの小中学生が参加し見事なダンスを披露しました。

最後は協賛企業様のご寄付による抽選会が行われパーティは大成功の裡に終了しました。

「スマイリーキッズ」クリスマス学習会



12 月 13 日(土)子ども英会話「スマイリーキッズ」では 3 クラス合同でクリスマス学習会を行いました。子どもたちの「プリーズ カム イン サンタクロース」の掛け声でドアの外から大きな袋を肩に掛けサンタクロースに扮した 3 人の講師たちが現れました。

みんなにプレゼントのお菓子袋を配り、保護者やスタッフにも飲み物サービスをして、特別授業の始まりです。

最初はジェンナ先生のクリスマス福笑い。続いてクリス先生のクリスマスバスケット、椅子取りゲームです。最後はジェイ先生のクリスマスビン

ゴとみんなで作るお話です。

子どもたちはどのゲームでも楽しみながら語彙を増やしていきます。子どもたちの対応の早さに驚きます。どの授業も先生方の息はぴったりです。

特別授業の次はジェンナ先生の故郷ハワイのクリスマスのお話。「雪の無いハワイでサンタクロースは何に乗って来るでしょう」答えは「カヌー」でした。今度は子どもたちがプレゼントする番です。「ABC の歌」と「Bingo」を元気に歌いました。最後に参加者全員でクリスマスソングを歌い記念写真を撮って終了しました。



KIFA の新たな試み

【鎌ヶ谷市主催 総合防災訓練】— 通訳ボランティアブース開設 —

鎌ヶ谷市総合防災訓練が9月28日(日)10時～12時、市役所の駐車場で行われました。KIFAは市役所、消防、(海上、陸上)自衛隊、日赤、自連協などの他各種団体と共に、在住外国人に対応すべく通訳ボランティアブースを開設しました。

防災訓練は「自分のことは自分で守る」をテーマに、体験型の訓練が展開されました。KIFAでは訓練に参加した外国人(アメリカ、中国、ベトナム)と共に体験に参加し、ガイド役を務めました。

体験を終えた外国人は、スタッフと共にハザードマップで自宅と避難所を確認、マップに加えて多言語版災害時非常事態カード、救急時情報カードを持ち帰りました。

「その時」に備えるには一過性の訓練(通訳ボランティアにとっても)で終わるのではなく、実際に体験した外国人の感想や要望の声を行政の防災対策に反映していくように働きかけをしていく必要があります。そしてボランティア通訳登録者は、外国人参加数に関わらず体験してみることが、災害時や災害時対応を考える上で必要だと感じました。この参加を通じて外国人に対応しようとしているKIFAの活動と姿勢を示せたこと、KIFAとしての多文化共生の意識を示せたことは、大きな意義があったと思います。

また救急時情報収集シートは、災害の際、怪我をした外国人への手当てに、通訳がいなくても対応が出来る行政などから評価されました。



【県立鎌ヶ谷高校の合同防災訓練に参加】— 外国人に繋がる災害の備えや対応など紹介 —

11月16日(日)県立鎌ヶ谷高校で行われた地域自治会との合同防災訓練に参加協力し、災害時に外国人住民に対する対応や、避難所で役立つやさしい日本語の紹介をしました。

また防災準備品や災害時の注意点、緊急時の医療用語の多言語版(英語、中国語、バングル) Disaster Emergency Card のチラシを用意しましたところ多くの参加者が持ち帰りました。

【鎌ヶ谷ふるさとづくり推進協議会と協力】— ハロウィンイベント —

秋晴れに恵まれた10月25日(土)ふるさとまちづくり推進協議会との協力で東武鎌ヶ谷駅東口フラワーショップ「スタイル」とショップ前のウッドデッキスペースでハロウィンイベントを開催しました。

ドラキュラのマントを羽織った若手協力者たちが見守るなか、フェイスペイントや多言語ゲーム、Jack o' lantern 作りを楽しみました。

まずはボランティアにフェイスペイントをしても

らい、パイレーツや cat に扮した外国人講師がスタンバイする店内に入り多言語ゲームに挑戦です。

次は、推進協議会の方が子どもたちのためにと、寄付して下さった本物の紅玉に、思い思いに triangle や circle の目、鼻と大きな口も付けて Apple Jack o' lantern の完成です。「できた！」満足顔で子どもたちは、「Thank you! See you!」とスタッフに感謝して帰っていきました。



【マイホームタウン】レネ・アレクサンドル (Lainé Alexandre) さん

フランス ゴンドクール町 (Gondrecourt)

*生まれたのはベルギーとの国境の町です。

私は東京大学『大気海洋研究所』で気候学の研究をしているレネ・アレクサンドルです。故郷はフランス北西部ベルギーとの国境に近いゴンドクールというとても小さな町です。気温は冬は 0℃～5℃くらい、夏は 25℃になることもあります。湿度は高くなく過ごしやすい所です。

ゴンドクールは大都市のリール市 (Lille) からは東に約 30 km、人口は 3,300 人ほどの 40 分も歩いたら、町の隅から隅まで歩いてしまうくらいに小さな町です。そしてどこまでも真平で丘すらありません。

昔は北の方に炭坑があり 1900 年代には石炭掘りが盛んだったようです。私が生まれた頃には既に現在のように、畑作が中心の町になっていて、工業といえば車のプラスチック部品を作る工場がある程度でした。他には肉屋、パン屋等食料品を売る店がありました。ゴンドクールは本当に真平で何も無いから退屈なくらいです。

ゴンドクールに住んでいたのは、私の誕生前に父親の勤務先がシャンパーニュ地方(Champagne)からゴンドクールになったからでした。父親は高校の化学の教師をしておりました。

私は高校を卒業する 17 歳までゴンドクールで過ごしました。現在父は退職しており、両親はシャンパーニュ地方で暮らしています。

*日本へ来たきっかけ

中高生の頃はテニスや卓球をしていました。卓球では州の大会にチームで出場し 4 位か 5 位になりました。

その後、合気道を始め 1 級を取りました。合気道をしたことで日本に興味を湧き、2006 年に初めて日本を訪れました。カナダでも仕事をしている経験もありますが、日本で働いてみたいと思うようになり、探していたところ、3 年後の 2009 年日本学術研究会が東京大学の研究員を募集していたので応募し採用さ

れました。任期が切れた後も直接、東大からの依頼で勤務したりしましたが、現在は国立極地研究所経由のプロジェクトで東大に勤めております。

*フランスの学校

フランスの学制は 3 歳～7 歳が幼稚園、7 歳～11 歳が小学校、11 歳～14 歳が中学校、14 歳～17 歳が高校になります。ゴンドクールは小さい町ですが学校は多く子供たちは周りの町からも大勢通ってきています。

大学は容易く入学できますが、私の進学したのはエリート中のエリートしか入れない、フランスのシクタンクとも言える専門分野の研究をするパリにある学校でした。フランス独特の学校制度かもしれません。

*趣味・家族について

現在は月 2 回、趣味になった水墨画を習っています。まだまだ未熟で公開はできません。

妻の紗矢香とは飯田橋の会館で催されたイベント会場で出会いフランス語で話しかけましたら、紗矢香が「英語が話せる？」と返してくれたのでその後は英語で夢中で話し続けました。今も夫婦の会話は英語中心です。

年に 1 度は、今はホームタウンとなっているシャンパーニュ地方へ里帰りしています。シャンパーニュ地方は紗矢香の故郷北海道に似ています。

シャンパーニュ(Champagne)で有名なシャンパーニュ地方では殆どの戸建の家にワインセラーがあります。私の実家にもワインボトル 300 本以上寝かせてあります。

その中の 100 本以上は私の物です。私は日本でも毎週ワインを 1 本空けますが日本酒も大好きです。

フランスには両親のほか、年の離れた兄と姉が一人ずついます。皆とても仲が良く温かい家庭です。



雨でも楽しかった房総めぐりバスツアー

台風 17 号の影響で 1 日中雨が降り止みませんでしたが 10 月 5 日(日)予定通り「房総めぐり交流バスツアー」を行いました。参加者は 5 ヶ国 7 名の外国人、小学生 3 名を含み 43 名でした。行き先は館山城・野島崎灯台とドイツ村と振替に歌真似物真似の面白ショー見学でした。日本人も外国人も等しく楽しめました。



部屋を一步入るとそこは英語の世界

—英会話サロン—

始めに各ゲストの5分間の基調スピーチを聞き、その後3グループに分かれているテーブルに各講師が順番に訪れお茶を飲みながら楽しくディスカッションをします。

第1回 7月6日(日) 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター大会議室



参加は外国人4名を含み31名。ゲストスピーカーは3名のアメリカ人です。

エリー本間さんのテーマは『国際結婚』。義父母がとても理解があり嬉しかった。義母は主人に子供の時から料理の手ほどきをしてあったので今でも自分の食事は自分で作るなど家事も子育ても自然

人気質を映していると考える)。

テキサスは人口、面積とも全米2位の州で大都市がいくつもありフォーチュン500に入る企業数は全米1位ですが、皆さんのテキサスのイメージはカウボーイとインディアンではないでしょうか。

ハワイ州出身のジェンナ・ウーさんのテーマは『4つの文化の中での生活』。両親は香港人でしたが、私が生まれる前にハワイに渡り私は生まれも育ちもハワイです。オレゴン州の大学へ行き両親とは英語でしか話さなかったため祖父母が話す中国語は殆ど分かりません。私はハワイ、オレゴン、中国、日本の4つの異なった文化の中で生活している事を楽しんでいます。



に分担できています。

テキサス州出身のアダム・ドアナクさんのテーマは『テキサス人がテキサス人にする話』サブタイトル(テキサス人はテキサスの歴史そのものがアメリカ

第2回 10月16日(日) まなびいプラザ



参加者は33名。ゲストスピーカーはガーナ人のクリス・エイヤスさん、USA ハワイ州出身のジェンナ・ウーさん、ニュージーランド人のトロイ・ウィリアムさんの3人です。

クリスさんのテーマは『言葉は道具』です。簡単な英語でも話す事によって世界が広がります。色々な国での経験から「言葉は人々をつなぐ」とつくづく感じました。

ジェンナさんのテーマは『ハワイの食べ物』です。

ハワイには四季がありません。日本料理の様に季節による違いはありません。太っている人は裕福に見られることから皆よく食べます。日本の醤油はとても人気があり魚の照り焼きなど好まれています。

トロイさんのテーマは『美しいニュージーランド』。私の先祖にもマオリがいますが、マオリと他の民族とは非常に自然な関係を保っています。ニュージーランドは日本と同じように火山が多く温泉もあり地震もあります。虫や、鳥には絶滅危惧種が多くいます。故郷は海辺に近いのですが沢山の鮫がいるので行きませんでした。



編集後記

市の国際化思考の機運が高まっていた1987年、市からの要請で設立され、市民のための国際交流事業を企画し着実に実績を上げて参りましたKIFAですが、その活動の拠点であり原点でもあった市役所の一隅から市の意向により2014年末日をもって撤退致しました。

皆様にはご不自由をお掛けする事になりましたがKIFA事業は推進して行く所存です。迅速な対応についてはHPを活用していますので皆様も是非のぞいてみてください。HPにバナー広告掲載を戴いた法人団体会員様、KIFAパーティに快くご寄附いただいた企業様心より感謝致します。若い人の協力も嬉しい限りです。鎌ヶ谷市の国際化と多文化共生をより多くの若人と共に進められる事を願っています。(K.F)